



校長の目 ～西小日々通信～

令和4年10月25日（火）



今日の児童集会は、図書委員会の発表でした。オンライン配信でしたので、教室での視聴です。図書委員会からは、図書室の利用の仕方や図書に関するクイズなどが発表されました。図書委員会の子たち全員に発表の役割があります。自分の出番がくるまで、緊張した面持ちで廊下に並んでいました。自分の発表が終わるとほっとした表情になります。こういった小さな緊張の場面は、自信の積み重ねと成長につながります。



9時ちょうどに市役所の車が到着しました。花いっぱいコンクールの審査員の皆さんが乗っている車です。これまで、たびたびお伝えてきた本校の花壇ですが、いよいよ審査の日を迎えました。学校運営協議会長や花プロジェクトのリーダーも駆けつけてくれました。審査員の皆さんからは、花壇が昨年より進化していること、土づくりから取り組んでいること、地域協働が機能していること、子供たちも関わっていることなど、本校の取り組みについてご評価の言葉をいただきました。審査の結果が楽しみです。



音楽会に向けた体育館での練習は、スケジュールがぱんぱんに埋まっています。2時間目は、2年生の練習でした。学年全員の子供たちがステージに乗ると迫力があります。先生の指揮に合わせて演奏しますが、リズムにずれがあり、まだまだ修正していかなくてはなりません。大人数で演奏すると合わせることの難しさを感じます。また、演奏だけでなく、舞台上に立った時におしゃべりをしないこと、勝手に音を出さないこと、といった基本的な約束事を守ることも大切です。よい演奏をするために全員の気持ちと行動を合わせることを学ぶ大切な機会といえます。



早いもので書初めのシーズン到来です。6年生は、画仙紙と同サイズのお手本を作っている最中でした。毎年この光景を見るたびに、冬の訪れを実感します。今年のお題は、3年生「しぜん」、4年生「なの花」、5年生「明るい声」、6年生「緑の大地」です。学年が上がるにつれて、漢字が一文字ずつ増えていくのが埼玉方式です。

